

2011 年度 活動報告

Activities of the Society in 2011 Fiscal Year

2011年度 活動報告

2012/01/22

小松昭英（記）

定例研究会開催日時

日時 2011/04/30 13:30-17:30
日時 2011/06/11 13:30-17:30
日時 2011/07/30 13:30-17:30
日時 2011/09/10 13:30-17:30
日時 2011/10/15 13:30-17:30
日時 2011/11/05 13:30-17:30
日時 2011/12/10 13:30-17:30
日時 2012/01/14 13:30-17:30

定例研究会覚書—2011/10/15

2011/10/16

小松昭英（記）

日時 2011/10/15

場所 キャンパス・イノベーション・センター、6階ラウンジ

出席者（順不同）

青木一三、上草貞雄、小松昭英、芝尾紘一、松本 巖、村上忠良、森田富士男（計7名）

1. 学会誌発刊の件

- ・ 原稿締め切り：2011/12/31
- ・ 原稿テンプレート：現行テンプレートを第一候補とするが、後日決定する。
- ・ 査読：年内11月と12月開催予定の研究会発表をもって代える。
- ・ 投稿案：（順不同）

巻頭言

研究論文	タイトル
青木一三	原発事故の確率について
上草貞雄	総合知基礎論
小松昭英	総合知の形成
芝尾紘一	？
松本 巖	複雑系の統治
村上忠良	総合知と知財/イノベーション
森田富士男	情報文化構造論
他	？

特集 東日本大震災を考える
全員（小論文）
後記

2. 研究発表会の件

とりあえず、春季研究発表会を下記要領で開催することとする。

記

開催日時：2012年6月

場所 : キャンパス・イノベーション・センター共用スペース

その他 : 招待セッションを設ける

先日行われた情報文化学会の例を参考にする。

お返しの意味も含め、情報文化学会に声をかける一担当森田富士男

3. 研究発表

上草貞雄 : 総合知基礎論

小松昭英 : 総合知の形成

4. その他 次回予定は追って通知する。

以上

定例研究会覚書—2011/11/05

2011/11/07

小松昭英 (記)

日時 2011/11/05、1330-1630

場所 キャンパス・イノベーション・センター、6階ラウンジ

出席者 (順不同)

芝尾紘一、村上忠良、松田 順、小松昭英 (計4名)

1. 研究発表

発表者 松田 順

テーマ 「東日本大災害から学ぶ」—BCPの見直し、サプライチェーンの観点から
質疑 (論文に追加して欲しいこと)

1-1 Web から、どのようにして情報収集を行ったか?

1-2 復興ビジョンのようなものを付け加えて欲しい。

1-3 復興の定点観測をするような連続ものにしてほしい。

2. 次回研究会

12月10日 (土) 1330-1700

キャンパス・イノベーション・センター、6階ラウンジ

以上

定例研究会覚書—2011/12/10

2011/12/11

小松昭英 (記)

日時 2011/11/05、1330-1630

場所 キャンパス・イノベーション・センター、6階ラウンジ

出席者 (順不同)

芝尾紘一、村上忠良、松田 順、青木一三、神出瑞穂、荻林成章、小松昭英 (計7名)

1. 研究発表

発表者 神出瑞穂

テーマ 「現代科学技術文明システムから還流文明システムへの転換」

発表者 荻林成章

テーマ1 「経済モデルエージェントベースシミュレーションに見られる”べき乗分布”の創発」

テーマ2 「経済モデルエージェントベースシミュレーションに見られる減税の経済効果—内閣府

データとの比較」

2. 次回研究会

1月14日(土) 1330-1700

キャンパス・イノベーション・センター、6階ラウンジ

皆さん、よいお年を!

以上

定例研究会覚書—2012/01/14

2012/01/15

小松昭英(記)

日時 2011/01/14、1330-1730

場所 キャンパス・イノベーション・センター、6階ラウンジ

出席者(順不同)

芝尾紘一、村上忠良、青木一三、神出瑞穂、荻林成章、上草貞雄、松本 巖、小松昭英(計8名)

(以下敬称略)

3. 研究発表

発表者 荻林成章

テーマ 「科学的方法論としてのエージェントベースアプローチの意義」

発表者 青木一三

テーマ 「原発事故シミュレーター—マルチエージェントモデル」

発表者 上草貞雄

テーマ 総合知基礎論(2)

備考 総合知基礎論(1)は、Review Paperとして今年度学会誌に掲載する。

4. 学会誌編集について

(ア) ISSN No.は”1345-4889”をそのまま踏襲する。

(イ) 国会図書館には、学会誌を二冊納入する。

(ウ) 印刷・製本は従来どおりの委託先とする。(芝尾が処置)

(エ) 進捗状況

投稿論文 松田、青木：最終照査中 (村上最終照査終了)

上草：作成中

活動報告 芝尾、小松：作成中

5. 次回研究会

2月18日(土) 1330-1700

キャンパス・イノベーション・センター、6階ラウンジ

発表予定 村上忠良：2011年度学会誌投稿論文について